

2019年5月21日

COOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

みやぎ生活協同組合 理事長 宮本 弘 様
株式会社日専連ライフサービス 社長 羽生正弘 様

団体名	石巻ユニバーサルビーチ委員会
団体所在地	〒986-2527 宮城県石巻市十八成浜大嵐山4-211 (団体電話) 022552973 (団体FAX) 0225452973 (団体e-mail) ishinomaki.ubi@gmail.com (団体ホームページ) https://ishinomaki-universalbeach.jimdofree.com/
代表者名	野津裕二郎 (役職) 代表
連絡担当者名	野津裕二郎 (役職) 代表
連絡担当者 住所・連絡先	〒 同上 (電話) (FAX) (携帯電話) (団体e-mail)

1. 助成事業報告

事業名	東北初のユニバーサルビーチを開催する
目的	私たちは東北の障がい児（者）をはじめとする、海に入りたいたけれど入った事がない方々が海に触れ楽しむ機会を作ろうと活動を展開していきたいと思っています。
実施内容	① 石巻市にある北上白浜ビーチを舞台に東北初となるユニバーサルビーチ開催を企画。 ② 水上車いす体験会の実施。 ③ 企画に先立ち団体運営基盤の強化。協力団体・支援者ネットワークづくりの為に講演会を実施。 ④ 当団体の協力者・協力団体を募る
開始から終了までの流れ	6月16日：関係団体・者会議 6月22日：石巻北上海水浴場下見と打ち合わせ 8月5日：北上白浜海水浴場ユニバーサルビーチ開催 8月9日：障がい福祉事業所みっちゃんち水上車いす試乗会 9月24日：ユニバーサルビーチ振り返り会議 2月24日：活動報告会&先駆的活動紹介講演会

<p>活動の成果と教訓</p>	<p>① 北上海水浴場で東北初ユニバーサルビーチの企画 障がい当事者3名（脳性麻痺）、リハビリ職5名、看護師 1名、福祉関係者8名、一般会社員1名、市議会議員1 名、当事者家族6名 参加者合計25名</p> <p>② 水上車いす体験会の実施 連携団体の非特定営利活動法人高橋園 生活介護事業所 内にて体験会の実施を行う。 障がい児2名 職員7名（介護士、看護師、一般職含む） 当日3名が体調不良により休み</p> <p>③ 企画に先立ち団体運営基盤の強化。協力団体・支援者 ネットワークづくりの為に講演会を実施。 連携団体の非特定営利活動法人高橋園 生活介護事業所 内にて活動報告会&先駆的活動紹介講演会として神奈川 県湘南でユニバーサルビーチを展開している榊原様に来 て頂き講演会の実施。</p> <p>牡鹿復興応援隊職員、NPO 代表者、障がい当事者3名、 当事者の家族2名、牡鹿でシーカヤックツアーを企画し ている女性名、介護事業経営者など12名の参加者</p> <p>④ 当団体の協力者・協力団体を募る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動の充実を行う。ホームページの作成、リーフ レットの作成、フェイスブックにて当団体ページを作 成 ・ 会員募集の仕組み作りとして、Mail アドレスや会員 になる為のページをホームページに乗せる。 <p>2018年の活動を通して、新しく10名程新しい活動協 力者が増えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石巻 NPO センターへ団体登録の実施 <p>⑤ 河北新報にてユニバーサルビーチの取り組み掲載 【教訓】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東北でも初となるユニバーサルビーチの開催であり 全てが始めての経験であった。その中で、振り返り 会議をメンバーで行った中で出た意見として、ユニ バーサルビーチ当日までのスケジュールの組み立て を検討する。障がいを抱えた子ども達は様々な理由 でドタキャンになりやすいので、2～3名多めの参 加募集人数に設定した方が良さそう。などの意見が 聞かれた。 2. 今後も継続した活動にしていく為には、助成金の みでなく自主財源の確保も必要になってくる。イ ベント開催時には、参加者から参加費を徴収して いく事も今後検討していく。
-----------------	---

今後の展望など	<p>目的は変わらず、「誰しものが海を通して喜びや楽しみを分かち合う事」である。その為に2019年以降もユニバーサルビーチの開催を目指す。また、将来的に石巻圏域の様々なビーチでユニバーサルビーチを開催出来るように、物理的環境の評価を海と福祉・介護・医療の専門家と共に実施していく。</p> <p>団体内の体制整備として、ハード面として水上車いすやモビーマット、遊具といった様々な障がい当事者の状態に合わせられるような状態にしていく。ソフト面としては、コアメンバーの1～2名の増加と組織としての体制強化を引き続き行う。また、当日ボランティアの人数増加を目指していく。</p>
---------	--

2. 助成金使途報告書

■ 収入の部（助成の対象となった事業の分のみ）

確保した資金内容	金額（円）	備考
みやぎスマイル基金助成金	300,000	
自費	8,261	代表より寄付
合計	308,261	

■ 支出の部（助成の対象となった事業の分のみ）

費目	内容	予算額	実支出額	助成金からの支出額	領収書 No.
広告宣伝費	団体ロゴ	50,000	50,000	50,000	①
	チラシ作成	20,000	20,000	20,000	①
	のぼり作成	30,000	30,000	30,000	①
謝金	講演会講師謝金	40,000	40,000	40,000	②
レンタル代	水上車いすレンタル	3,000	3,000	3,000	③
消耗品購入費	更衣・休憩用テント（3台）	40,000	32,596	32,596	④⑤⑥
消耗品費	ライフジャケット	25,000	20,912	20,912	⑦⑧
	シュノーケル	6,000	5,400	5,400	⑨
	レジャーシート	2,000	2,980	2,980	⑩
	簡易式シャワー	3,000	3,128	3,128	⑪
	土嚢用スコップ	3,000	2,836	2,836	⑫
	熱中症対策グッズ	10,000	3,674	3,674	⑬⑭
	クーラーボックス	0	18,980	18,980	⑮
消耗品費	イベント用椅子・机	15,000	14,217	14,217	⑯
消耗品費	救急箱セット	6,000	5,580	5,580	⑰

消耗品購入費	のぼり	27,000	0	0	①を含む
消耗品費	印刷費、用紙、インク等	20,000	54,958	46,697 ※8,261 自費	⑱
合計		300,000	308,261	300,000	

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3. 送付必要書類

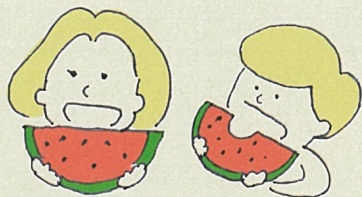
- (1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書
- (2) 領収書のコピー（助成金から支出した分のみ）番号を振ってください
- (3) 成果物（活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真など）



一緒に海に行きたい友達がもし車いすだったら?ベビーカーを押していたら?認知症になったとしたら?海に行く事や海に入る事を諦めますか?

一緒に海に遊びにいきたい友達がいます。その友達がたまたま車いすユーザーでした。それだけで海に入れなくて現実があるのです。

私たちは物理的環境を変化させ、仲間の力や知恵で障壁を越えていけば、「やってみよう」を「やれる」に変えていけるのではないかと考えています。



このリーフレットは、coopトリプルカードみやぎスマイル基金の助成によって作成しています。



実際に参加した方の声

Q.なぜユニバーサルビーチに参加しようと思ったのか?

A.誘われたから。誘われなければ、知らなかった事。何事にもチャレンジ精神。

Q.あなたにとってユニバーサルビーチって何ですか?

A.本人はワクワク、楽しかったと。そんな本人を見たら、来てよかった。心配はいらないかな。



Q.今後ユニバとしてどのような活動になったら嬉しいですか?

A.誰かのチャレンジのはじまり。その時間はそこに居るみんなにとってもはじまりの一歩だと思う。



□ 会員になる(無料)

会員特典:会員になるとビーチイベントや講演会開催時に優先してお声かけさせていただきます。

- ・フェイスブックページ「石巻ユニバーサルビーチ委員会」から本設ホームページへ進み、会員登録をする。
- ・フェイスブックメッセージにて会員登録依頼をする。

本設ホームページ

<https://ishinomaki-universalbeach.jimdofree.com/>

□ 応援をする

(水上車いすなどの必要備品購入、講演活動時など運営費に活用)

お振込先のご案内

イシノマキユニバーサルビーチインカイ
七十七銀行(0125) 鮎川支店(408)
普通預金 口座番号 5001631

お問い合わせ先:石巻ユニバーサル委員会

または、フェイスブックページ「石巻ユニバーサルビーチ委員会」

Mail : ishinomaki.ubi@gmail.com

Let's go to the beach together!!

石巻
ユニバーサルビーチ



発行:石巻ユニバーサルビーチ委員会



Qユニバーサルビーチってなに？

石巻ユニバーサルビーチ委員会は、ユニバーサルデザイン(利用する人を年齢、性別、障害の有無など、さまざまな理由で特別扱いしないという意味が込められる。)の考えを大切に、「乳幼児から高齢者まで障がいがあるなしに関わらず、誰しもうみを通って喜びや楽しみを分かち合えるビーチ」を作りたいと考えています。東北にはまだユニバーサルビーチの取り組みはほとんどなく、宮城県では一度もユニバーサルビーチが開催された事がないのが現状となっています。

Qどんな人が参加できるの？

- ・海に入りたけれど何かしらの理由で入りづらいと感じている方
 - ・お子さんや友達、恋人など親しい方を海に入れてあげたいと思っている方
- ※ 医療・福祉の従事者が中心となって活動しています

Qどこで開催するの？

2018年は北上白浜海水浴場にて実施。2019年は石巻圏域の海水浴場の環境調査を行い、各海水浴場でユニバーサルビーチを実施する際の注意点や必要物品の確認を行います。

その後、各海水浴場にて実施予定。連携団体が出来れば、活動範囲を徐々に拡大していきます。



水上車いす体験会 まずは自分達で乗ってみる事で
注意点や安心感を感じます。



ユニバーサルビーチの取り組みが盛んな湘南から
講師をお招きし講演会を実施しました。関東と東北で繋がるユニバーサルな輪です。

3.ユニバーサルビーチの支援者ネットワークづくり

取り組みに興味のある仲間や団体の輪・
人財づくりをしていきます。



5.その他目的の達成に必要な活動



プカプカ海に浮かぶ感覚はやっぱりワクワクします。



宮城県で初めてのユニバーサルビーチ記念日。この後大雨が降ってバタバタしたのもいい思い出。

1.先駆的ユニバーサルビーチの調査

湘南をはじめ先駆的事例から学んでいきます



2.ユニバーサルビーチの啓蒙啓発運動

講演会や体験会などを通して
活動の輪を広げていきます。



誰しもうみを通って喜びや
楽しみを分かち合えるための

★ 5つの事業 ★

